

酢酸エチル回収再利用装置

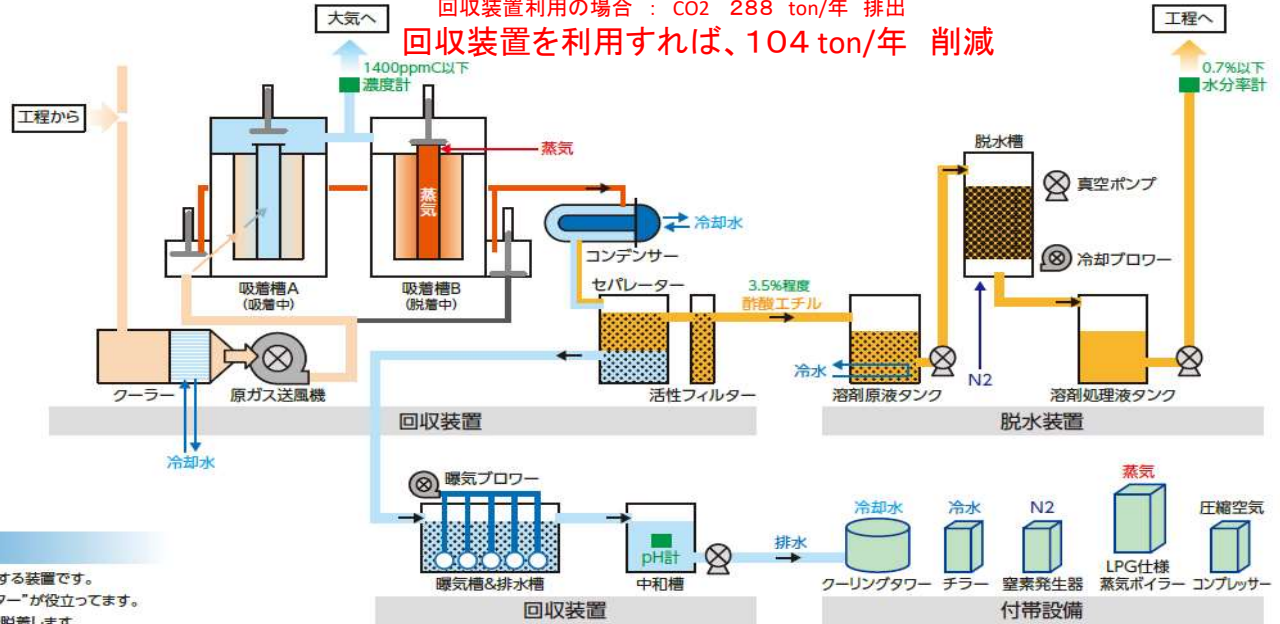
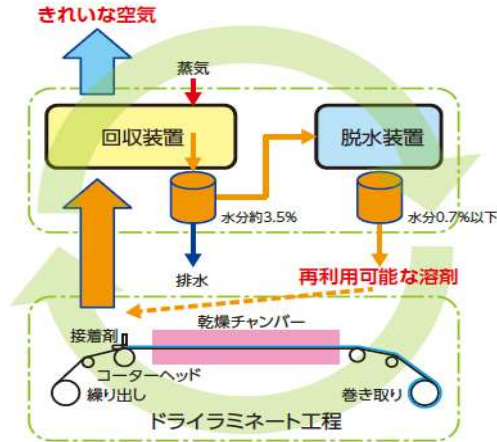
～環境への配慮と高い省エネ性を両立～

試算: 1コーターに適用

溶剤購入の場合 : CO2 392 ton/年 排出

回収装置利用の場合 : CO2 288 ton/年 排出

回収装置を利用すれば、104 ton/年 削減



1. 回収装置で大気汚染防止法をクリア

回収装置は排出空気から熱分解成分の少ない高品質な酢酸エチルを回収する装置です。それには、吸着・脱着スピードが大変速い世界初の活性炭繊維"Kフィルター"が役立っています。通常は1槽で吸着する間に、もう1つの槽では吸着した酢酸エチルを蒸気で脱着します。装置を通過した空気は酢酸エチルを95%以上除去され、きれいな空気として大気に排出されます。きれいな空気は常時濃度を測定監視し、2槽を無駄に切り替えることのないよう省エネ運転します。

2. 脱水装置で溶剤購入量を大幅に削減

回収装置で回収された酢酸エチルは通常水分率3.5%で、再利用できる状態ではありません。回収装置の後段に脱水装置を設け、水分0.7%以下(保証)の溶剤に仕上げ再利用頂きます。回収装置と連動しており、ユーティリティが安定に供給されていれば、全自動で運転されます。

⇒ 2020年度: 新規溶剤購入ほぼゼロ
約25百万円/年 節約

TOYOBO 東洋紡エンジニアリング株式会社

2016年12月制作